

# 稲作情報



みやぎ仙南農業協同組合  
米穀課 0224-63-3131

令和8年6月1日

## ～田植え後の水管理を徹底し生育確保と除草剤の効果を高めましょう～

今後の管理については、圃場を見回り、苗の初期生育と除草剤の効果を高めるため、適切な水管理を行きましょう。

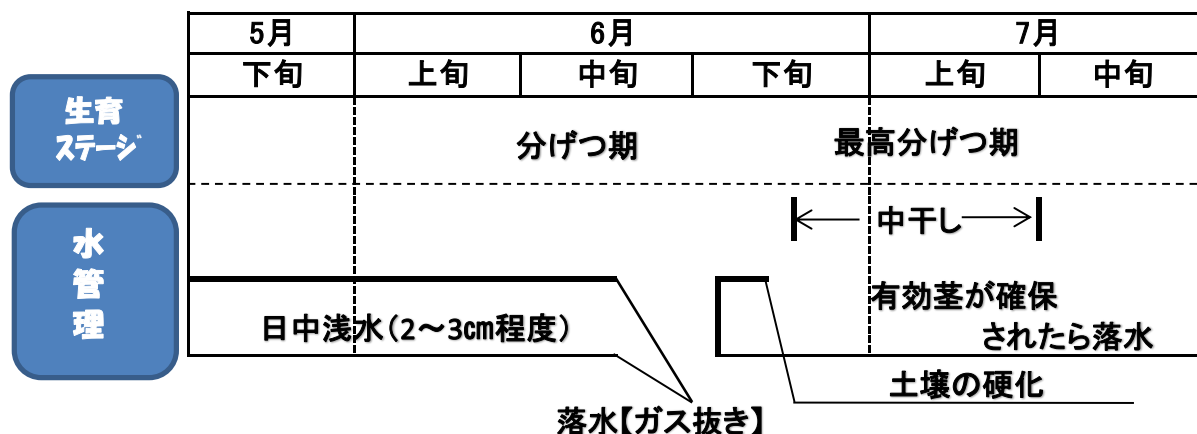


天気が良好な場合……浅水管理(2～3cm程度)

低温、曇天の場合……深水管理(5～6cm程度)

※生わらや未熟たい肥をすき込んだ圃場ではガスが発生して生育を阻害する恐れがありますので、その際は、一時落水をして土壌への酸素供給とガス抜きを行きましょう !

### ★水管理の目安★



**! 残苗の放置が散見されます。早急に処分してください。 !**



田植え後、補植用に置かれた苗が散見されます。放置していると、いもち病や初期害虫の温床になるほか、根が張り処分が困難になりますので、補植(浮苗挿し)作業の必要がない圃場では、残苗を早急に処分してください。

**※欠株は2株以上連続しなければ収量に影響しません。**

## 雑草は残っていませんか？



こだわり米のほ場で追加防除をした場合、栽培中止報告書の提出が必要です。



近年、移植後に高温が続く影響で雑草の生育も早まっているため、防除のタイミングが遅れて雑草が大発生してしまう事態も発生しています。雑草が残っていると稲の生育に影響を及ぼすほか、ノビエやホタルイが残草すると、斑点米カメムシ類が水田内に侵入するため、早めの追加防除を行いましょう。

薬剤名	10a当り使用量	使用時期 (移植水稻)	対象雑草
ウィードコア1キロ粒剤	1 kg	移植後7日～ノビエ4葉期 ※収穫60日前まで使用可	ノビエ、ホタルイ、コナギ、アセナ、オモダカ、シズイなど
クリンチャー1キロ粒剤	1 kg	移植後7日～ノビエ4葉期 ※収穫30日前まで使用可	ヒエ専用剤
	1.5 kg	移植後25日～ノビエ5葉期 ※収穫30日前まで使用可	ヒエ以外の広葉雑草には効果がありません
バサグラン粒剤	3～4 kg	移植後15日～ ※収穫45日前まで使用可	イネ科雑草除く 特に、クログワイ、オモダカ、ミスガヤツリに効果大 落水散布
クリンチャーバスME液剤	1,000ml (希釈水量70～100ℓ)	移植後15日～ノビエ5葉期 ※収穫50日前まで使用可	クリンチャー + バサグランの混合剤 ノビエ、ホタルイ、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ 落水散布

※薬剤の使用にあたっては、最新の農薬登録情報を必ず確認してご使用ください。

## 中干し実施について

中干しは、稲の根に酸素を送ることにより根の活力を高めるほか、株元に光を当てることにより無効分げつを抑える効果がありますので、有効茎数(目安:坪60株植えて1株当り25本以上)を確保したら早めに中干し(7日～10日間程度)を行いましょう。また、中干し期間を1週間延長すると、メタン(温室効果ガス)発生量の約3割削減が期待できます。排水不良の圃場や日数がかかる大区画圃場では、溝切により排水しやすくすることで、中干しの効果が高まります。

中干しの程度は

- 田面に小さな亀裂が入る程度
- 田面に足跡が付く程度の硬さ
- 排水不良の水田は溝切が有効

中干し終了後の水管理・・・急に湛水にはせずに、走水から行い間断かん水にする。



復元田、転作跡地等では倒伏しないように強めの中干しを実施しましょう!!

## ～ JA出荷者へお知らせ ～

米の栽培記録簿(前期)の提出期日は **6月26日(金)**です。  
必要事項を記入し、両面とも再度内容をご確認の上、提出頂きますようお願い致します。